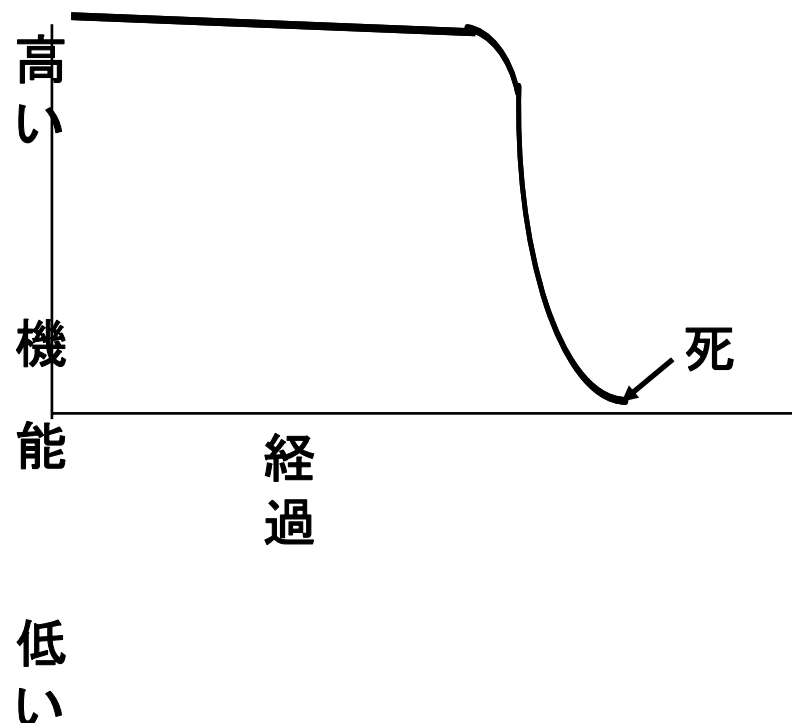


一般的な終末期のイメージ: がん等

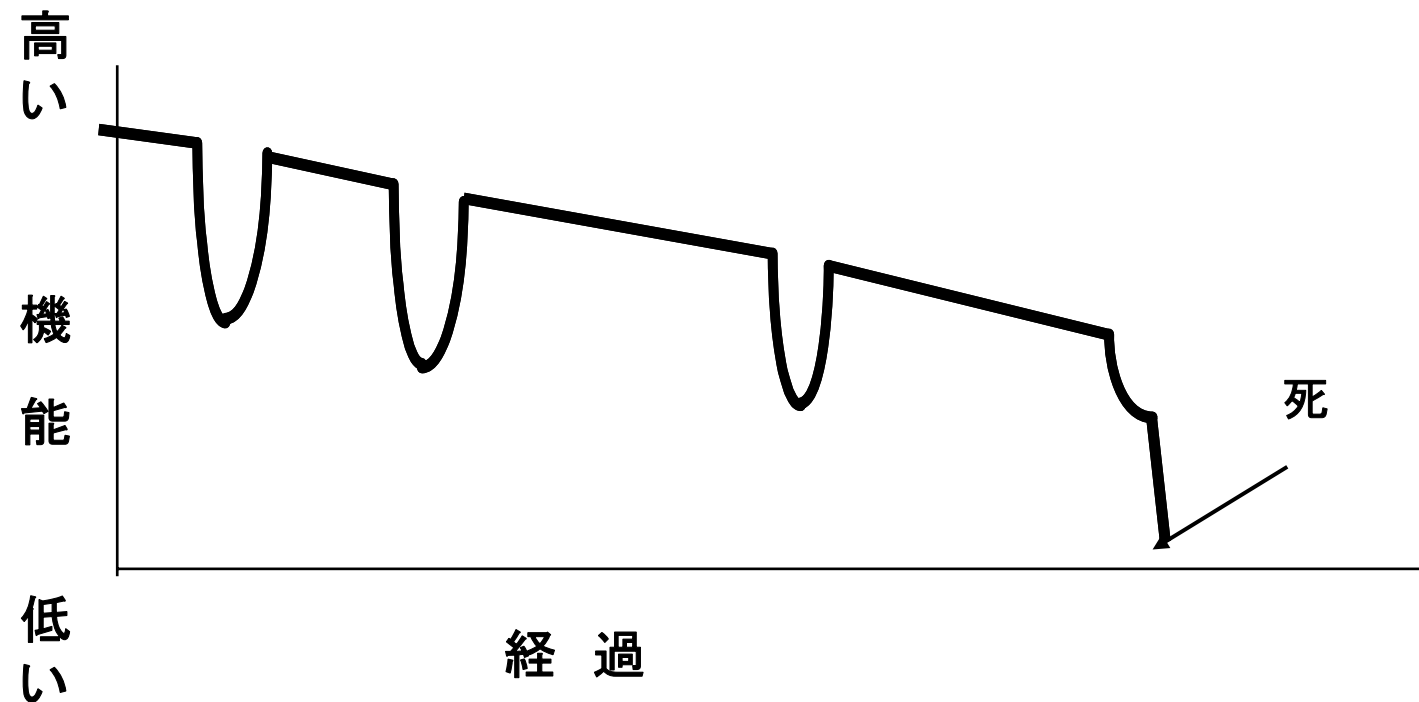


池上直己「終末期の多様性と終末期医療ガイドライン」より

出典: Lynn and Adamson, “Living Well at the End of Life,” WP-137, CA: Rand Corporation, 2003

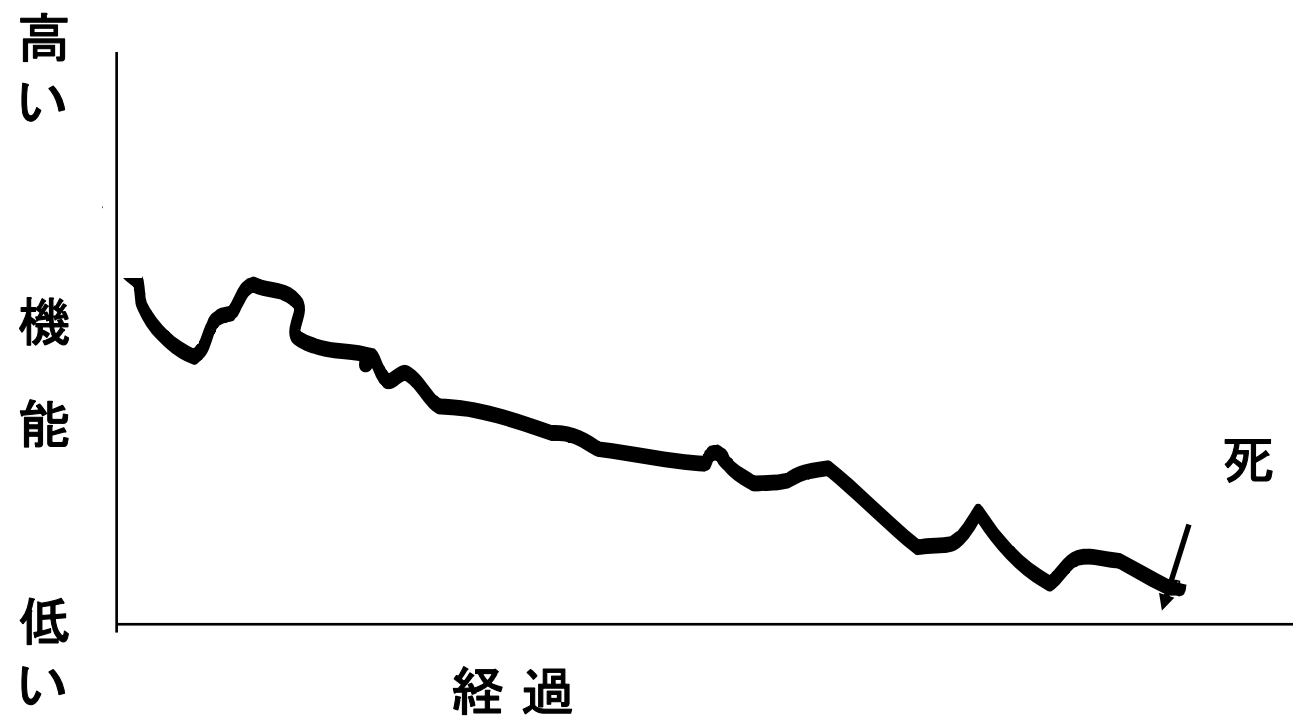
徐々に重症化しながら死亡：肺疾患等

池上直己「終末期の多様性と終末期医療ガイドライン」より



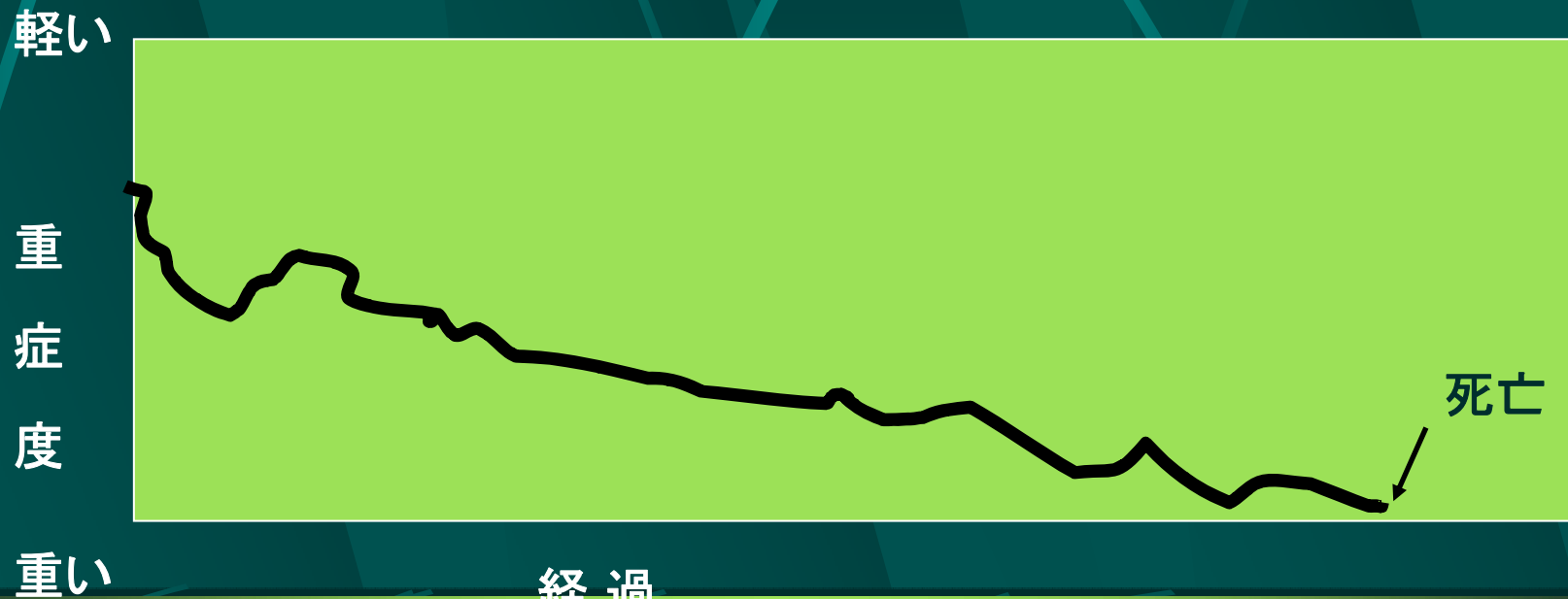
長い期間にわたり徐々に低下：認知症等

池上直己「終末期の多様性と終末期医療ガイドライン」より



①慢性期死亡類型

- 慢性疾患が緩徐に進行し、終末期を経て死に至る。
- 悪性腫瘍、ALSなどの神経難病、代謝性疾患などが該当する。



経過

米村滋人 「『終末期』概念の意義と限界」より

②急性期死亡類型

- 短時間で発症・進行し、急速に終末期を迎え死に至る類型。（突然死は含まない）
- くも膜下出血(SAH)などの重症脳血管障害、重症の誤嚥性肺炎などが該当する。
（多くは3次救急医療の守備範囲）



③急性期・慢性期反復類型

- 慢性的な臓器機能の低下に急性期合併症が加わる事象を反復する。通常、急性期合併症の1つが致命的。
- 特発性間質性肺炎、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの慢性呼吸器疾患、慢性心不全などが該当する。

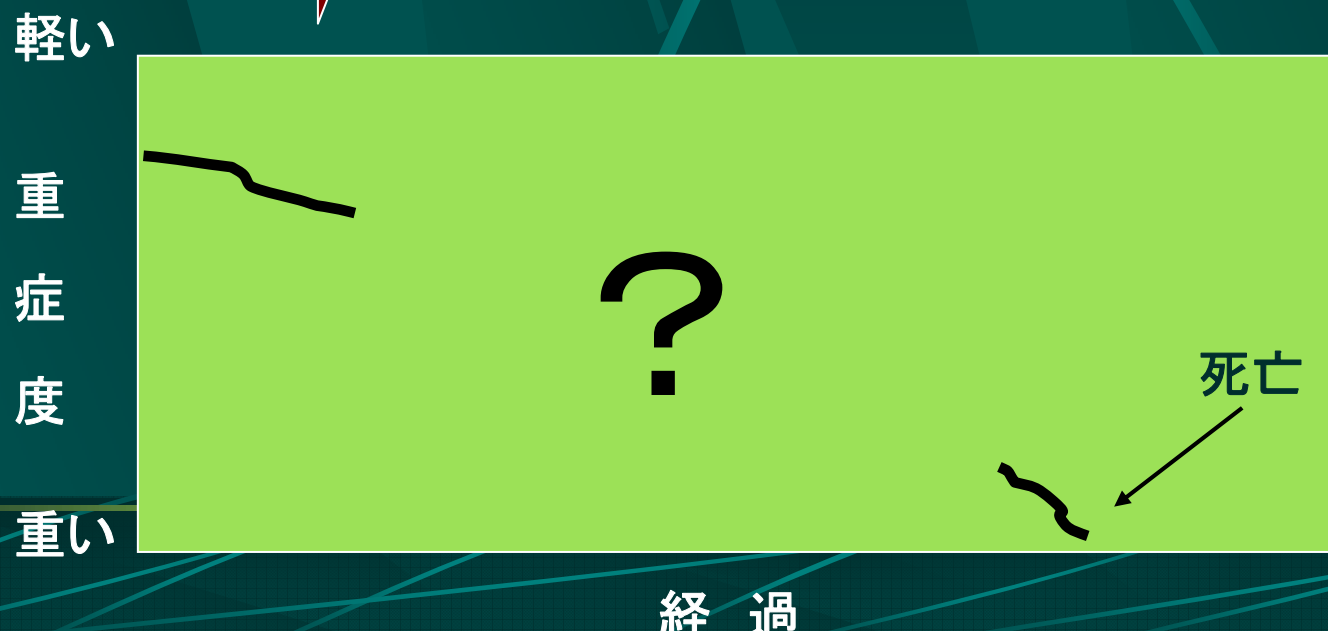


④原因不明類型

次の2つの類型がある。

- 諸検査によっても原因が判明しない場合
- 原因検索を含めて多くの医療行為が拒否・懈怠されている場合

➡ 後者は現実にかかなりの頻度で存在。



Ⅲ 患者が望む医療と医療の中止

- 「終末期」において、患者が望まない医療を中止しうる。
- 意識調査では、国民が何を望んでいるかはある程度分かるが、当該患者については分からないことが多い。
- 決定手続の適正化： ①Second Opinion、②Visibility

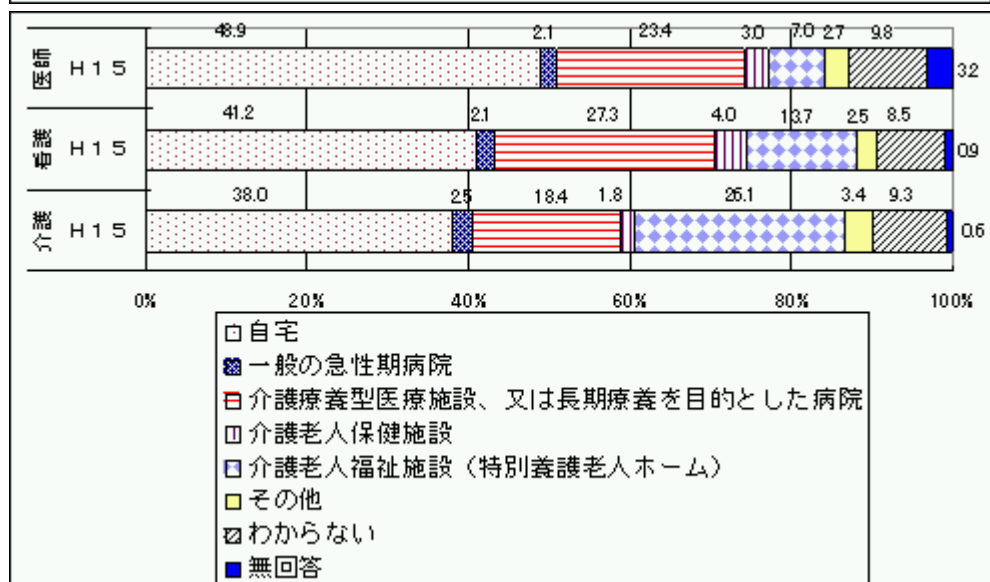
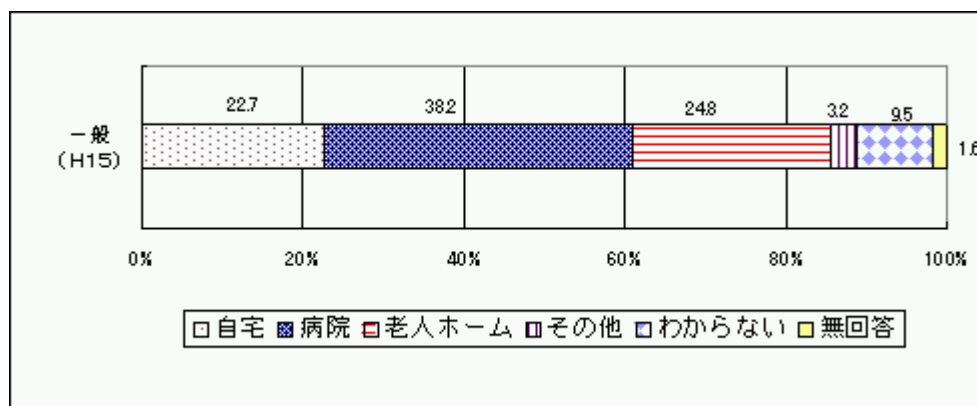
「終末期医療に関する調査等検討会」報告書における
終末期に中止してよい・中止すべきでない医療

- 最後の療養場所
- Ordinary/Extra-ordinary Treatment
- 続けられるべき医療についての医療関係者の意識

問 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、**どこで最期まで療養したいですか。**(○は1つ)

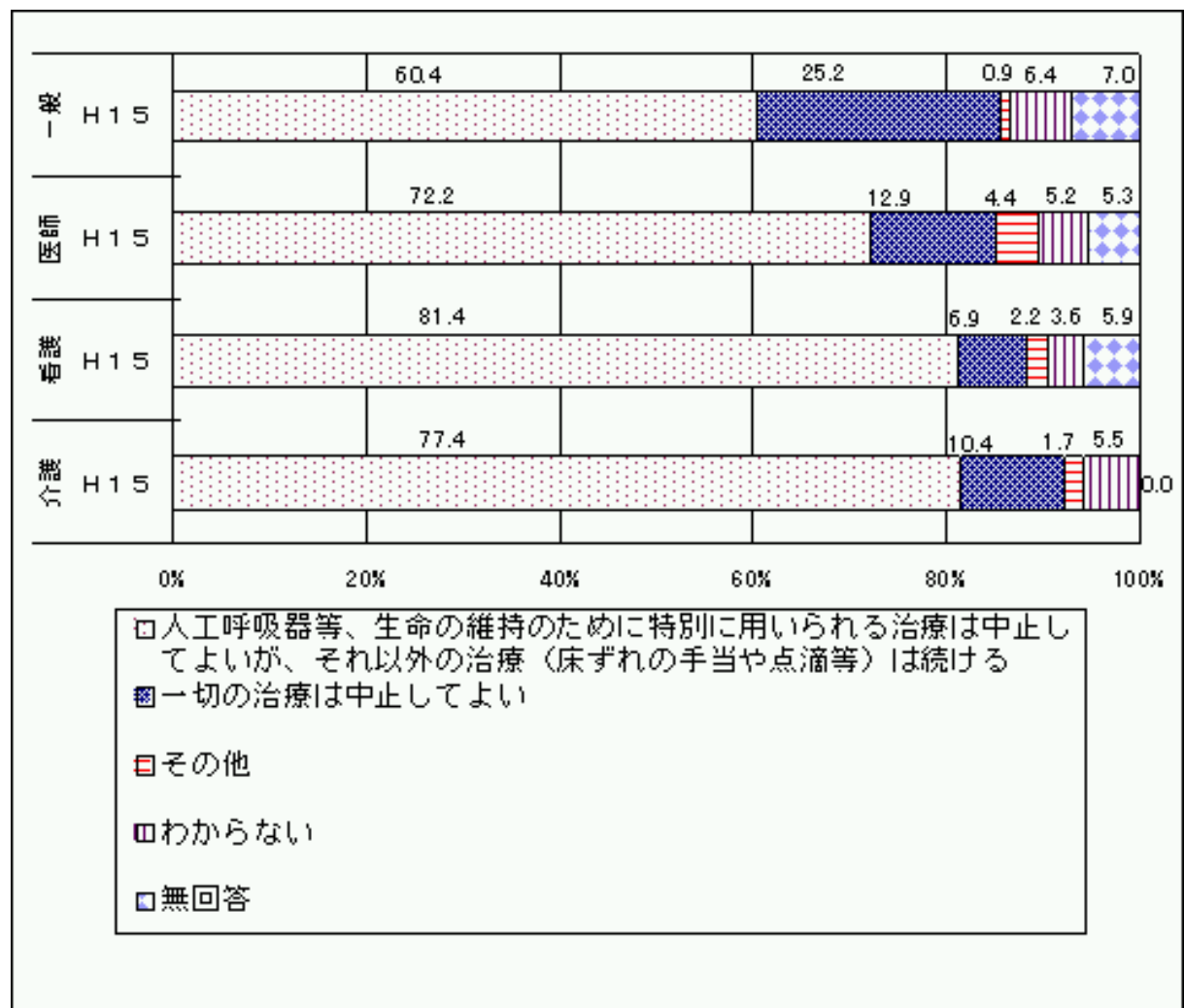
高齢になった場合の終末期を自宅で療養したいと回答した者は、その理由として「住み慣れた場所で最期を迎えたい」(般62%、医66%、看65%、介70%)、「最期まで好きなように過ごしたい」(般47%、医57%、看66%、介61%)、「家族との時間を多くしたい」

(般43%、医55%、看58%、介56%)をあげる者が多い。



(自分の患者または家族が、持続的植物状態で治る見込みがないと診断された場合、単なる延命医療は「やめたほうがよい」「やめるべきである」と回答した者に対する質問)

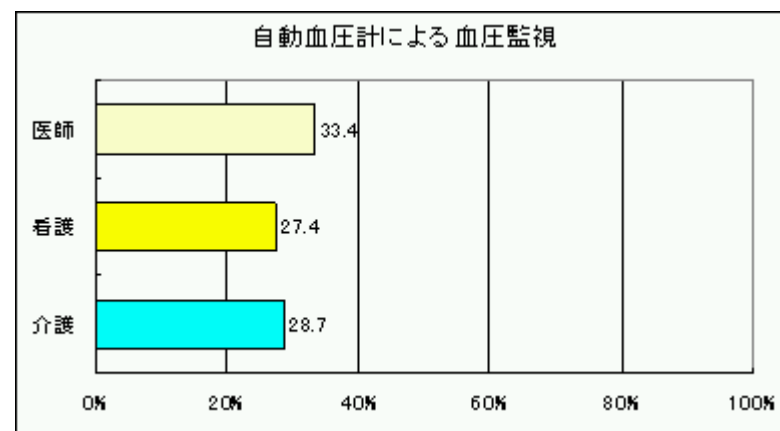
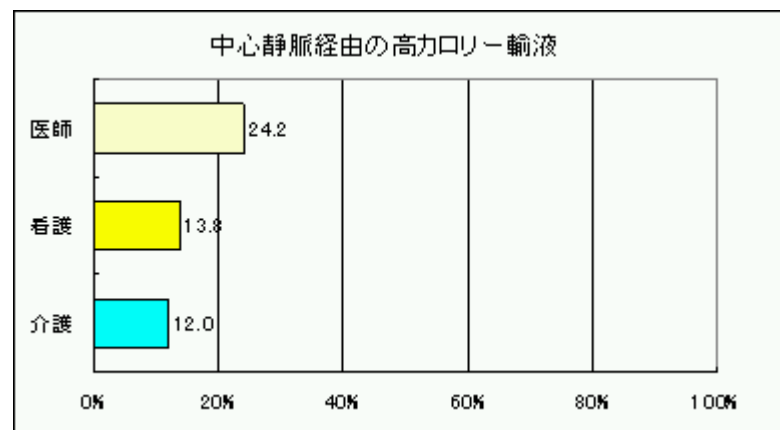
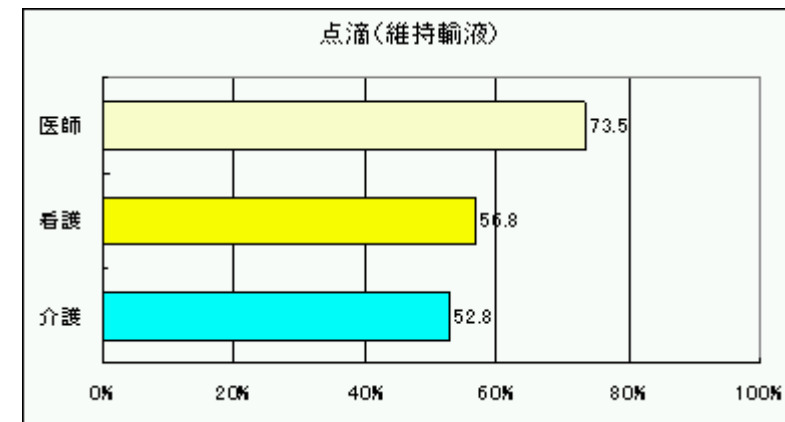
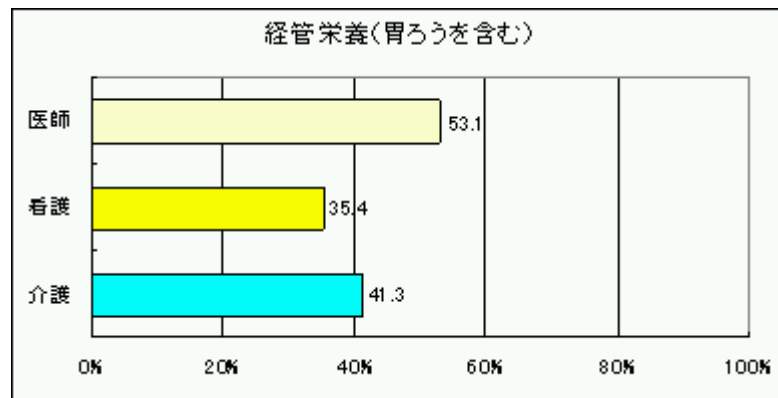
単なる延命医療を中止するとき、**具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。**



(「人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける」と回答した者に対する質問)

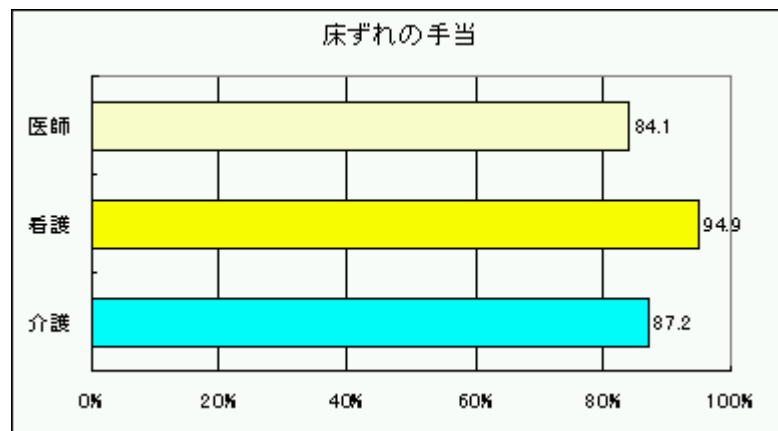
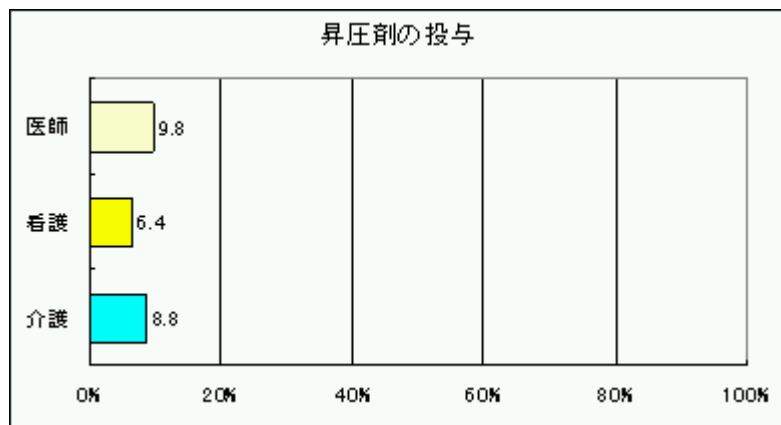
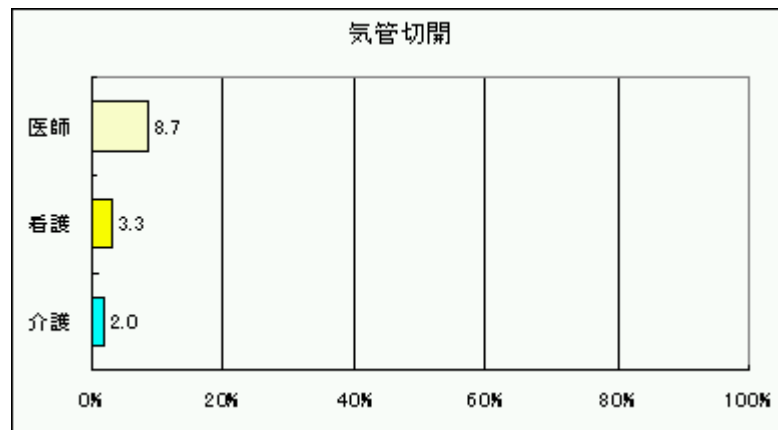
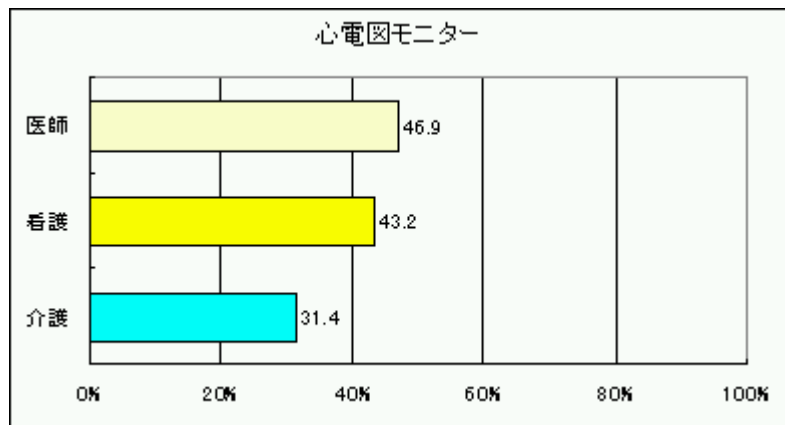
続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。あなたのお考えに近いものを

お選びください。(〇はいくつでも)



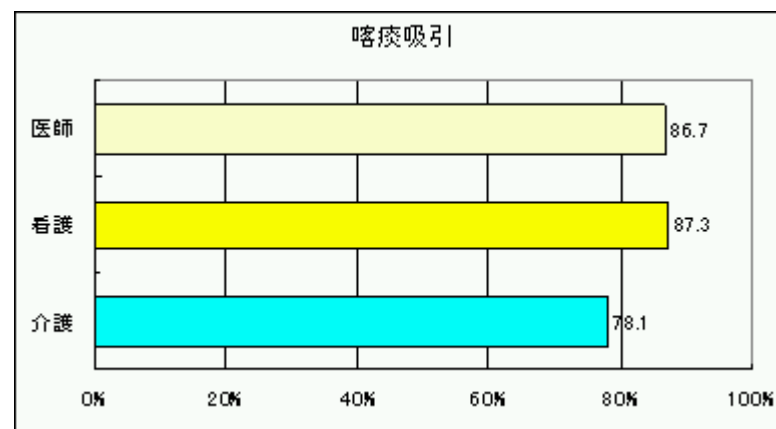
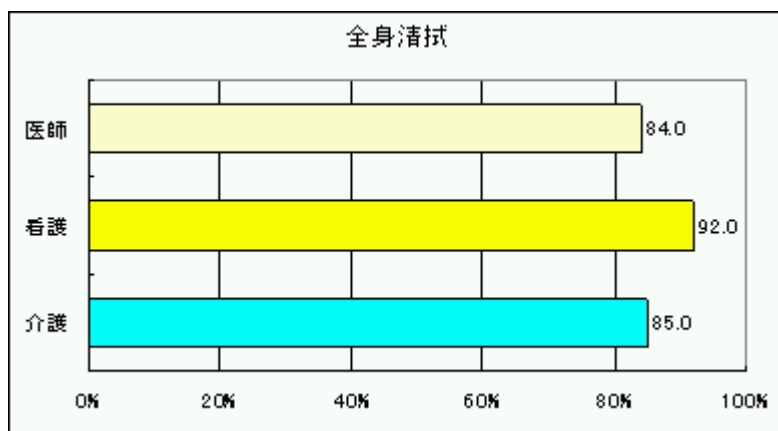
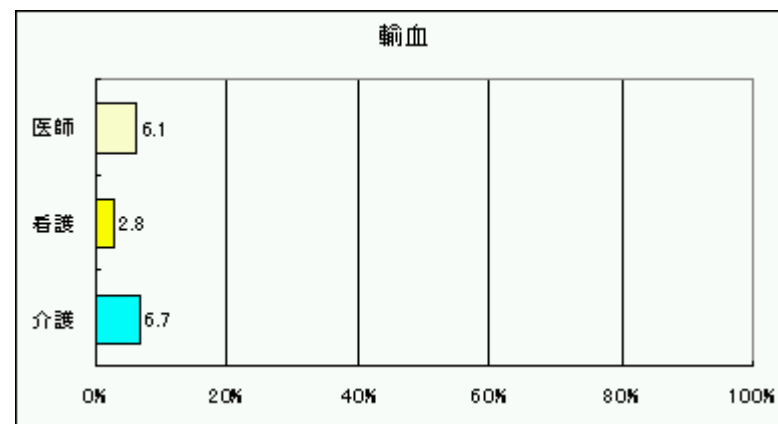
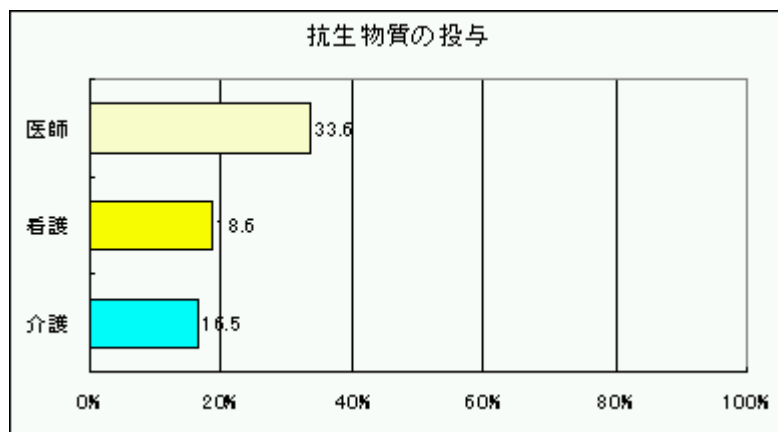
(「人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける」と回答した者に対する質問)

続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。〈続き〉



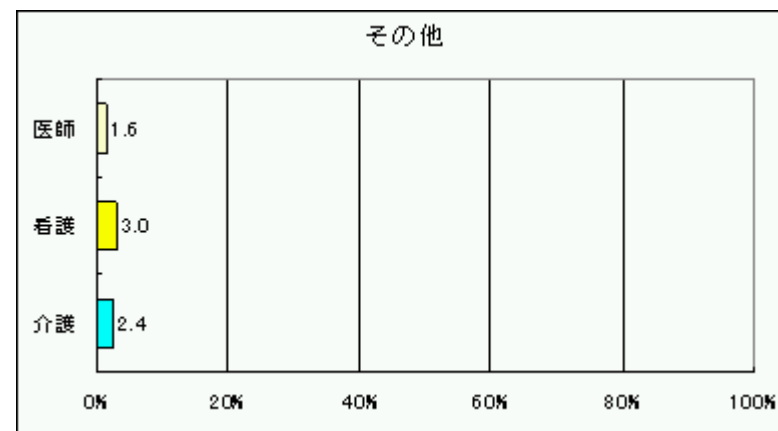
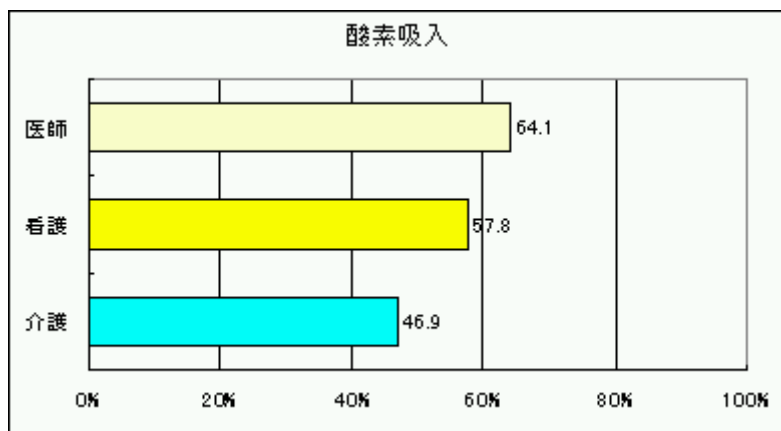
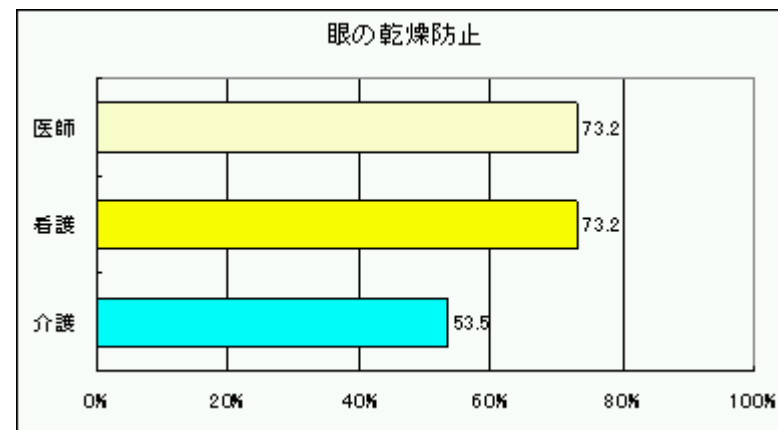
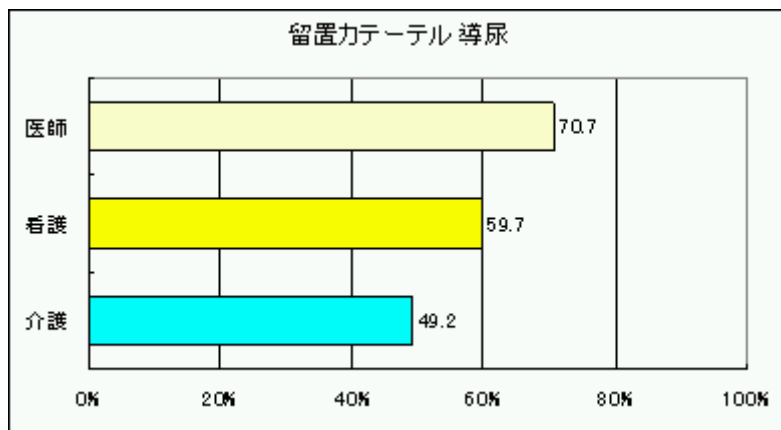
(「人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける」と回答した者に対する質問)

続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。〈続き2〉



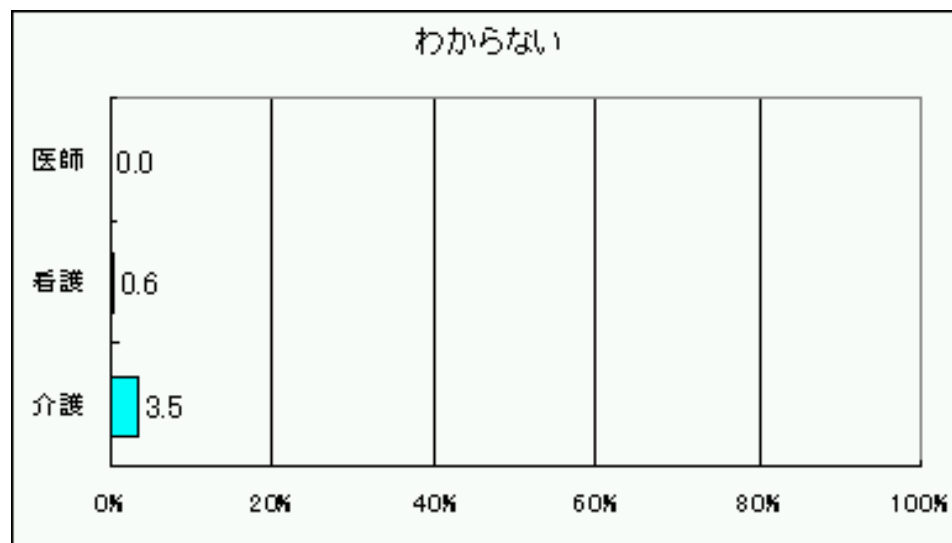
(「人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける」と回答した者に対する質問)

続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。〈続き3〉



(「人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける」と回答した者に対する質問)

続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。〈続き4〉



患者の意思に基づいた医療の決定

- 客観的テストと主観的テスト
- 判断の手続
- 厚労省「たたき台」もついて